

# 平成28年度 第1回高田区地域協議会

## 次 第

日時：平成28年4月18日（月）午後6時30分～

会場：高田地区公民館第6研修室

### 1 開会

### 2 議題等の確認

### 3 報告

（1）高田駅前観光案内所の通年開設と活用について（回答） （40分）

### 4 議題

（1）平成27年度地域活動支援事業の実績報告の検証について（3回目）（10分）

### 5 事務連絡

### 6 閉会

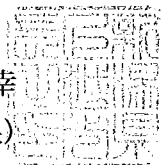


上観第9524号

平成28年3月24日

高田区地域協議会  
会長 西山要耕 様

上越市長 村山秀幸  
(産業観光部 観光振興課)



高田駅前観光案内所の通年開設と活用について (回答)

平成28年2月17日付けで提出のありました意見書について、下記のとおり回答いたします。

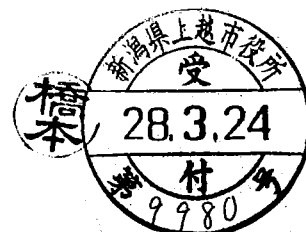
記

北陸新幹線の開業に伴い、上越妙高駅観光案内所に高田周辺エリアの観光案内ができる体制を整え、情報検索や旅行商品・宿泊施設の仲介・斡旋などの機能を拡充したことから、高田駅前観光案内所は現在、観桜会期間や大型連休など、イベントや乗降客の多い期間に限定して開設しております。

また、高田エリア内での観光案内については、上越妙高駅観光案内所での電話対応のほか、高田駅入口へのパンフレット配置、高田公園をはじめとする12か所の公衆無線LANの設置、「上越観光Navi」による観光情報の提供等の体制も整えたところです。

しかしながら、平成28年度は国の地方創生加速化交付金を活用した、城下町高田の歴史・文化を生かした「街の再生」事業もスタートすることから、街なか回遊の動向を調査するとともに、新幹線開業後の高田駅前観光案内所の利用実態について改めて調査するため、案内所を試験的に通年開設し、その結果等を踏まえて今後の開設の是非について判断してまいりたいと考えております。

なお、地域の皆さんの主体的な活用についても、引き続き意見交換を行ってまいります。



平成 28 年 2 月 17 日

上越市長 村山 秀幸 様

高田区地域協議会

会長 西山 要耕

### 高田駅前観光案内所の通年開設と活用について（意見書）

上越市地域自治区の設置に関する条例第 7 条第 1 項の規定に基づき、「高田駅前観光案内所の常時開設と活用について」に関して自主的に審議した結果、下記のとおり提出いたします。

#### 記

北陸新幹線の開業により交流圏域が拡大し、高田区では、えちごトキめき鉄道を経由しより多くの来訪者を迎えられる環境が整ってきました。

高田区地域協議会ではこれを、観光客誘致による地域経済の活性化と歴史に培われた地域資源の魅力を高め交流拡大を図る好機と捉え、これまで勉強会や地域との意見交換を行ってまいりました。

しかしながら現状では、受入環境の基本ともいべき高田駅前観光案内所の開設期間が観桜会やお盆など年 40 日程度に限られ、来訪者から不満やとまどいの声が上がっています。

市では、上越妙高駅観光案内所を中心的な情報発信基地と位置付け、高田エリアの観光案内機能を移転したとしていますが、当協議会では、高田駅前観光案内所の通年開設と活用により、通年型、着地型観光へ取り組んでいくことが喫緊の課題であると考えています。

このことから、次のとおり提案します。

#### 1. 高田駅前観光案内所の通年開設について

城下町高田には、観桜会など集客力の高い行事のほか、歴史的、文化的に魅力のある観光資源が多く点在し、それを目的に年間を通じ多くの来訪者があります。

来訪者からは、通年の観光案内所がないことに、不満や驚きの声さえ聞こえてきており、高田を訪れる多様な旅行者に快適な旅を提供できるよう、高田駅前観光案内所の通年開設を強く求めるものです。

#### 2. 通年開設のために行政が中心になって研究会を組織することについて

地域住民自らが、地域の魅力を再確認し、愛着をもって地域づくりに取り組むことが地域の魅力を高める第一歩です。

高田区には、既に様々な市民団体が、街中の活性化や情報発信、修景事業に取り組んでおり、そうした団体と市が協力・連携することが、より効果的なイベント運営や着地型旅行商品の開発にも繋がっていくと考えます。

そのための意見交換の場を設けるとともに、拠点として高田駅前観光案内所の協働による運営と活用を提案します。

## 平成27年度 地域活動支援事業の検証（3回目）

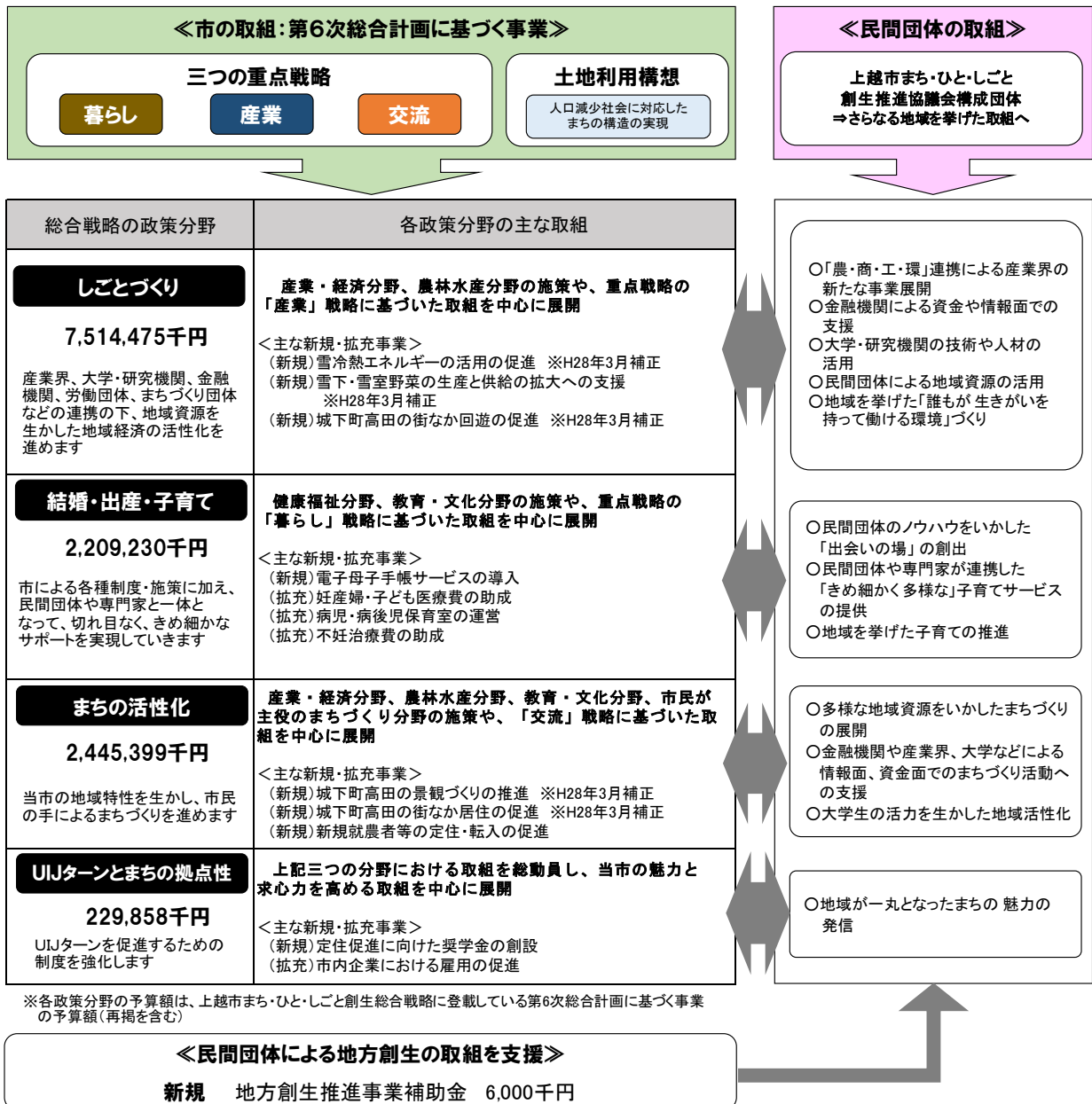
| 検証No. | 事業No. | 事業名          | 提案団体名      | 委員氏名<br>(敬称略) | 検証内容<br>(検証結果回答票より原文をそのまま転記していますが、<br>一部事務局が補記している場合があります)  | 左の内容を提案者に通知<br>すべきかどうか。(いずれか<br>を事前に○で囲む) |
|-------|-------|--------------|------------|---------------|---|---|
| 1     | 2     | お馬出しプロジェクト事業 | お馬出しプロジェクト | 山田 昇          | 多彩な催し物を計画通りに完遂されましたことは、企画会議の定例化と関係者の意義変革によるものと解し、定性・定量の両面で高く評価されます。次に、事業の継続、発展の一環として次世代の小学生の参加を意欲的に取り組まれている事に感心しています。 | 必要 ・ 不必要                                  |

# 上越市の地方創生の取組について

## 1 上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進について

- ・国を挙げた地方創生の取組が本格化する中で、本市では、昨年5月に「産・官・学・金・労・民」の各種団体で構成する「上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会」を設立し、その後、10月には、本市及び協議会の構成員55団体が実施主体となる地方創生に向けた事業をとりまとめた「上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。
- ・本戦略では、若者・子育て世代から「選ばれるまち」「住み続けたいまち」を全体目標として掲げ、「しごとづくり」「結婚・出産・子育て」「まちの活性化」「UIJターンとまちの拠点性」の四つの政策分野において、市民及び各種団体の皆さんとの連携・協働の下で人口減少問題への対応を図り、次の世代に安心して引き継いでいくことのできる持続可能なまちづくりを進めます。
- ・平成28年度からは、各種団体や企業の皆さんによる地方創生に資する事業を支援する「地方創生推進事業補助金」を新たに設け、地域の総力を挙げて若者の雇用創出や本市の拠点性・求心力の向上を図っていくこととしています。

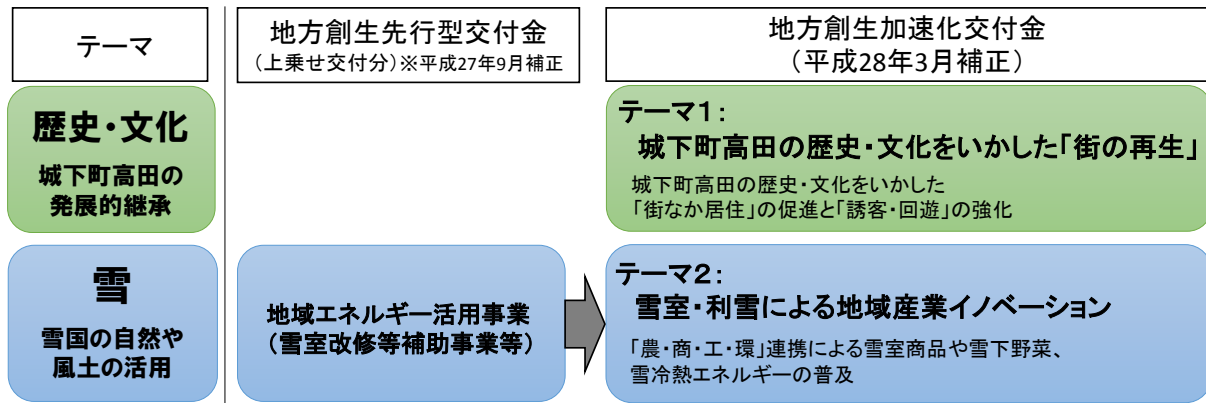
### 《地方創生に向けた主な市の取組と民間団体の関わりのイメージ》



## 2 地方創生加速化交付金を活用した事業（平成28年3月補正）

- 地方創生の推進に当たり、国は、平成27年度補正予算において、地方自治体が地方版総合戦略に基づき実施する先駆的な取組への支援を行う「地方創生加速化交付金」を創設しており、市では、「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』」と「雪室・利雪による地域産業イノベーション」の二つのテーマの事業について、同交付金を活用して地方創生の取組を推進していきます。
- 今後、国が平成28年度予算で創設する「地方創生推進交付金」についても積極的に活用し、地方創生の取組を推進していきます。

### 《事業の展開イメージ》



### テーマ1 城下町高田の歴史・文化をいかした「街の再生」

- 江戸時代の城下町の町割りを残し、様々な都市機能が集積している高田市街地において、日本一の長さの雁木通りや魅力的な空間を持った町家、寺町寺院群など、そこに受け継がれている有形・無形の資産を当市の大きなまちの力として活用し、街なか居住を促進するとともに誘客・回遊を強化する。

### テーマ2 雪室・利雪による地域産業イノベーション

- 雪室商品の開発及び雪下・雪室野菜の生産・流通の仕組みを構築し、「雪」を生かした地域産品の高付加価値化と地域ブランド化を進めていくことで、当市ならではの新たな仕事づくりや、所得向上につなげる。

| テーマ  | 事業名                 | 事業費<br>(千円) | 事業概要  |
|--|---------------------|-------------|---|
| テーマ1<br>城下町高田の<br>歴史・文化を<br>いかした<br>「街の再生」 | 城下町高田街なか<br>居住促進事業  | 34,220      | ○城下町の町割りをいかした土地利用促進に向けた基礎調査<br>○町家を活用した大学生用のシェアハウスの整備   |
|  | 城下町高田景観<br>づくり推進事業  | 1,949       | ○地域住民との協働による景観形成計画策定に向けた調査  |
|  | 城下町高田街なか<br>回遊促進事業  | 13,215      | ○二つの100年建築を核とした誘客・回遊の強化<br>○雁木や町家の魅力をいかした店舗やイベントの拡大による回遊性の強化<br>○官民協働によるプロジェクトの設置   |
|  | 小計                  | 49,384      |   |
| テーマ2<br>雪室・利雪に<br>よる地域産業<br>イノベーション        | 雪冷熱エネルギー<br>活用事業    | 27,770      | ○雪むる推進プロジェクトによる雪室商品の開発促進と情報発信<br>○雪むる推進プロジェクトで開発した雪室商品を生産・増産する新たな雪室の整備と既存施設の雪室としての有効利用可能性の調査<br>○首都圏や関西圏などでの雪室商品や雪の利活用方法を広くPRするプロモーション活動の実施 |
|  | 雪下・雪室野菜生<br>産拡大支援事業 | 10,417      | ○大根、人参、キャベツなど6品目の野菜についての雪下野菜及び雪室野菜の生産と供給の拡大に向けた支援<br>○雪下・雪室野菜のブランド強化・販路拡大   |
|  | 小計                  | 38,187      |   |
| 合計   |                     | 87,571      |   |